

令和7年度愛媛大学大学院農学研究科・愛媛県農林水産研究所合同研修会開催要領

1 趣 旨

愛媛大学大学院農学研究科では、地域と世界の益々の発展のために「自然と共生する持続可能な社会を構築する」ことを大きな目標に、教育研究・社会貢献活動を進めている。一方、愛媛県農林水産研究所では、地域の技術的課題に速やかに対応し、本県の農林水産業の活性化を図ることを目指し、取組みを進めている。

これらの研究力を支えるため、また、将来に向けて挑戦的な研究に取り組んでいくために研究者の連携した活動に期待されている。

そこで、本年度は昨年度より引き続きスマート農業技術に関する議論に加え、新たに、国内外で深刻化している気候変動への取組みについても議論し、またこれまでの幅広い農学研究科・研究所の研究成果を通じた意見交換により、今後の研究・人材育成の展開を図る。

2 主 催 愛媛大学大学院農学研究科、愛媛県農林水産研究所

3 日 時 令和7年9月5日（金） 13：30 ～ 16：45

4 場 所 愛媛大学農学部 大講義室他 （松山市樽味3-5-7）

5 内 容

（1）主催者挨拶（13：30 ～ 13：45）（大講義室）

（2）話題提供 （13：45 ～ 14：15）（大講義室）

「農林水産研究所における主要な取組みと人材育成について」

（講師）愛媛県農林水産研究所 森貞 雅博 所長

（3）分科会（14：25 ～ 15：35）

ア 第一分科会 『気候変動下における食料安定生産・供給に向けて』

○座長：（愛媛大学大学院）高橋 真 教授、（農水研）浅海 英記 部長

近年の急速で急激な気候変動下において、現在の栽培方法や品種では十分に対応しきれず、生産性が低下し、今後の食料供給を危ぶむ声も出ています。そこで、愛媛の農林水産研究が担う役割と取組課題を整理し、知を集積した課題解決による、国内外に向けた「食料供給基地えひめ」実現について考えましょう。

イ 第二分科会 『スマート農業技術の社会実装の現状と課題』

○座長：（愛媛大学大学院）上加 裕子 准教授、（農水研）間 健二 室長

農林水産業の生産現場を支える技術の一つとしてスマート化が注目されています。さまざまな技術開発が進んでいますが、実際の生産現場への導入は十分とはいえません。魅力ある産業として次世代に繋げるため、愛媛の農林水産業へのスマート技術の社会実装をどのように実現するかについて考えましょう。

（4）パネルでの研究成果等の紹介・展示（15：45 ～ 16：45）（21 ～ 23 番講義室）

（5）情報交換会（17：30 ～ 19：00）農学部生協1階 （会費：3,500 円）

6 参集範囲

愛媛大学大学院農学研究科（学生含む）、県農林水産研究所、国、県関係機関 等

7 参加申込方法

事前登録制とします。参加を希望する方は、右記二次元コードまたは下記URLからお申し込みください。また、県農林水産研究所HPの同合同研修会開催要領を開くと、この参加申込フォームがありますので、そちらからも申込みできます。なお、参加費は無料です。

<https://logoform.jp/form/XG6n/1086544>

（申込締切：令和7年8月22日（金））



（インターネット）